

みえ県議会 だより

NO.
147

平成28年
(2016年)
4月3日



三多気の桜(津市美杉町)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町13

☎ 059(224)2877 ☎ 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp

http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/



県議会情報をお知らせする「みえ県議会だより」は、今号から新聞折り込みでお届けするほか、公共施設などにも配置します。

常任委員会の活動状況

※平成27年5月13日から平成28年2月29日までを掲載しています。

総務地域連携常任委員会

行財政の運営や地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査しています。

〔委員会開催回数8回〕
〔審査・調査の概要〕

移住促進に向けた取り組みや地域スポーツ・競技スポーツの推進、南部地域の活性化や行財政改革の取り組みなど多くの課題について調査し、委員からさまざまな意見がありました。

特に、平成33年「三重とこわか国体」の開催に向けた準備の状況やトップアスリートの県内定着の促進など競技力向上の取り組みをはじめ、南部地域活性化基金の見直しなどについて重点的に調査を行いました。

また、地域資源を活かした地域づくりや過疎地域の自立活性化に向けた取り組み、さらには、スポーツを通じた地域づくりや生活交通対策の取り組みなどについて現地調査を行いました。

〔審査した議案〕
○三重県行政不服審査会条例案
ほか



定住促進の取り組みの調査(尾鷲市)

戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整や雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流および観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査しています。

〔委員会開催回数9回〕
〔審査・調査の概要〕

産業振興や雇用対策、観光振興及び国際展開など、多くの課題について調査を行いました。

特に、伊勢志摩サミットに関して、県内全域へのサミットの周知や世界各国からの来訪者のおもてなし、住民の理解促進や不安の解消、テロなどの対策等を重点的に調査しました。

また、平成28年度からの新たな行動計画となる「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の策定について、詳細な調査を行いました。

〔審査した議案〕

○伊勢志摩サミット開催時の対象地域及び対象施設周辺地域の上空における小型無人機の飛行の禁止に関する条例案 ほか



北海道洞爺湖サミットの調査(北海道)

環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策や農林水産業の振興などについて、審査・調査しています。

〔委員会開催回数8回〕
〔審査・調査の概要〕

RDF焼却・発電事業や地球温暖化対策、県産農林水産物の輸出や獣害対策など、多くの課題について調査を行いました。

特に、TPP(環太平洋パートナーシップ協定)については、農家の不安を払拭するために県としての農業政策の方向性を明確に示す必要があることから、TPPの県内農業に対する影響を把握し、具体的な施策展開に繋げていくことを県当局に要望しました。

また、農・林・水産それぞれの6次産業化等の先駆的な取り組みのほか、性的マイノリティや外国人が暮らしやすい社会づくりに取り組むNPO等について現地調査を行いました。

〔審査した議案〕
○三重県水源地域の保全に関する条例案 ほか



林業の6次産業化の調査(同山県)

健康福祉病院常任委員会

保健衛生行政の推進、社会福祉および社会保障の推進、地域医療対策、子どもおよび青少年の育成や病院事業の運営などについて、審査・調査しています。

〔委員会開催回数9回〕
〔審査・調査の概要〕

少子化対策の推進、地域における医療・介護の体制、障がい者の自立と共生、貧困の連鎖解消の取り組み、県立病院の運営など多くの課題について調査を行いました。

特に、医療介護総合確保推進法により策定する地域医療構想については、慎重な協議・調整を行うことを県当局に要望しました。

また、県内外調査では、妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行う名張版ネウボラや、学習支援事業による貧困の連鎖解消の取り組みを行う埼玉県の先進事例などの調査を行いました。

〔審査した議案〕
○三重県薬物の濫用の防止に関する条例案 ほか



学習支援事業の調査(埼玉県)

防災県土整備企業常任委員会

危機管理および防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅その他土木行政の推進や公営企業(病院事業を除く)の運営などについて、審査・調査しています。

〔委員会開催回数8回〕
〔審査・調査の概要〕

RDF焼却・発電事業や、水道事業・工業用水道事業の運営、防災面からの伊勢志摩サミットへの対応方法、策定中の三重県復興指針(仮称)の検討など、多くの課題について調査を行いました。

特に、RDF焼却・発電事業については、爆発事故の訴訟終結を一つの節目と捉え、第三者への債務の処理方針及びRDF焼却・発電事業の総括結果の報告を県当局に強く求めました。

また、県内・県外調査では、防災・減災対策や復興の取り組み、入札契約制度などについて調査を行いました。

〔審査した議案〕
○財産の取得について ほか



復興先導プロジェクトの調査(宮城県)

教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育および文化財保護行政の推進や警察の組織・運営などについて、審査・調査しています。

〔委員会開催回数11回〕
〔審査・調査の概要〕

学力向上の取組、次期三重県教育ビジョン(仮称)、三重県教育施策大綱(仮称)、犯罪情勢、自転車関連事故の現状と対策、伊勢志摩サミット開催に向けた警備諸対策など、多くの課題について調査しました。

特に、次期三重県教育ビジョン(仮称)については、自立する力と共生する力のバランスが図られたものとなるよう県当局に要望しました。

また、県内・県外調査では、グローバル人材の育成、学校と地域が一体で行う教育支援体制、テロ対策などについて調査を行いました。

〔審査した請願〕
○子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて ほか



教育支援体制の調査(福島県)

予算決算常任委員会

予算、決算など県財政全般について、審査・調査しています。

〔委員会および各分科会開催回数69回〕

〔審査・調査の概要〕

議長を除く議員全員が所属し、部局別に6つの分科会を設け、年間を通じて予算議案、決算議案などの詳細審査・調査を行っています。

県財政の現状や前年度の県政運営を調査し、目指すべき方向性について知事へ申し入れるとともに、新年度当初予算については、予算編成が始まる以前の段階から調査を行い、議会の意見が反映されるよう取り組んでいます。

また、南部地域活性化基金見直しの調査のほか、京都府・石川県議会を訪問し、予算決算審査の活性化や執行機関への政策提言の取り組み状況などの調査を行い、常任委員会化して初めて有識者の参考人として出席を求め、地方財政の課題等の意見を聞き審議の充実に努めました。

〔審査した議案〕

○平成26年度三重県一般会計歳入歳出決算 ほか



県政運営等に関する申し入れ

人口減少対策特別委員会

人口減少対策について調査しました。

〔委員会開催回数13回〕

〔審査・調査の概要〕

人口流出が続いている地方特有の課題である社会減対策を中心に「持続可能な社会の創出」「地域への理解と愛着を育むキャリア教育」「移住の促進」の3点を重点調査項目として調査を行ってきました。

県当局からの聴き取り調査に加え、参考人招致や県内外調査を実施し、有識者やITターン起業家、地域人材育成事業に参画する高校生、移住支援NPO等の取り組み状況を調査するとともに、関係者との意見交換を行いました。

9月には、それまでの委員会における議論をとりまとめ、今後の施策への反映を検討するよう、知事に対して申し入れを行いました。

知事に対する申し入れ以降も、委員間討議等を重ね、最終の委員長報告において、県当局に対して、地域課題の解決に資する起業を促すための支援モデル構築等を要望しました。



ええとこやんが三重 移住相談センターでの調査

主な取り組みの紹介



鳥獣害に強い地域づくりについて 意見交換 ～みえ現場de県議会～

県議会では、多様な県民の意見を県議会での議論に反映させるため、「みえ現場de県議会」を開催しています。

平成27年度の2回目は、2月5日に松阪市嬉野ふるさと会館で「鳥獣害に強い地域づくり」をテーマに開催しました。

当日は、鳥獣害対策等に関わる方6人と一般公募の方4人から、県議会議員14人が直接ご意見をお聴きしました。

参加者からは、森林や農地などの被害の深刻さや、鳥獣害対策の現状と課題などについての意見とともに、「みえ森と緑の県民税の獣害対策への活用」「シカを追い回す犬の養成」「皆伐後の植林支援」「ジビエ料理の学校給食への提供」「県内各地への解体処理施設の設置」などの提案をいただきました。



みえ現場de県議会 鳥獣害に強い地域づくり



子どもたちへ議会のしくみを説明 ～みえ県議会議員出前講座～

県議会では、県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う意識の醸成に寄与することを目的に、県議会議員が小中学校や高校などに出向き、県議会の役割や仕組みなどについての授業を行っています。

平成27年度は、いなべ市立中里小学校や県立豊学校など、8校で授業を行いました。議員の説明の後、児童や生徒からは「なぜ議員になったのか」「議員定数はどのように決めるのか」「選挙で投票できる年齢が18歳からになったのはなぜか」などの質問が寄せられ、議員は自身の経験等を踏まえ丁寧に答えました。

みえ県議会出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。詳しくは、議会議務局までお問い合わせください。



2月9日 中里小学校の様子



三重県手話言語に 関する条例検討会

昨年10月から全ての会派の議員13人で構成する検討会を設け、手話の普及のための施策の推進に關し、条例の制定に向けた調査及び検討を行っています。

これまで、聴覚障がいを持つ当事者や団体の方、聴覚障がい児の保護者、手話通訳者の団体の方、手話言語を研究する大学教授から意見を聴くなど様々な方面から調査しました。さらに現地調査として、先行して条例を制定している群馬県と神奈川県、鳥取県で手話施策の実施状況等や、聾学校で手話を活用した教育の視察調査を行いました。

引き続き条例引き続き条例案提出に向けて、議員間討議を中心に慎重・丁寧に議論を重ねていきます。



先行事例調査(鳥取県)



「みえ県民力ビジョン」 第二次行動計画(仮称) 最終案等知事への申し入れ

1月27日に、正副議長と各行政部門別常任委員会が「みえ県民力ビジョン」第二次行動計画(仮称)最終案及び「第二次三重県行政改革取組(仮称)中間案」について知事に申し入れを行いました。

申し入れでは、目標の設定方法や実感の伴った新しい豊かさの検討、機動的な財政運営の確保等についての提言を行いました。



第二次行動計画(仮称)最終案等知事への申し入れ



平成27年度第3回 三重県議会議員勉強会

県議会では議員の資質向上を図るため、外部有識者を招いた議員勉強会を開催しています。

第3回目となる1月18日は、三重大学の駒田美弘学長を講師にお招きしました。

講師からは、「地方創生と三重大学の役割」と題して、地方創生の取り組みとして、三重大学の機能強化構想の戦略や地(知)の拠点大学による地方創生推進事業などについてご講演をいただきました。



平成27年度第3回 三重県議会議員勉強会

お知らせ

「みえ高校生県議会」の参加校を募集しています!

- 開催日 平成28年8月19日(金)
- 場所 三重県議会議事堂 議場
- 内容 高校生が質問し、県議会議員が答えます。
- 募集期間 平成28年3月7日(月)～4月28日(木)(必着)
- 募集対象及び学校数 県内の高等学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校に通う生徒で1校あたり2～4人。合計10校まで。(各学校1グループ)
- 応募方法 学校単位でご応募ください。詳しくは、三重県議会のホームページをご覧ください。

